

医療関係者各位

日本メドトロニック株式会社
ダイアビーティス事業部

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた本人または生計維持者の失業のため 弊社製品を用いた糖尿病治療が継続できない患者さんへの支援について

日本メドトロニック株式会社ダイアビーティス事業部は、この度の新型コロナウイルス感染症の拡大が個人および社会経済に与える影響が甚大なものであることに鑑み、弊社ダイアビーティス事業部製品を用いて糖尿病治療を行い、新型コロナウイルス感染症による不況下で本人または生計維持者が失業し、これまで続けてきた治療を継続できない、またはその継続が危ぶまれる患者さんに対し、当該治療にかかる医療費自己負担額の一部を弊社より給付する支援を開始いたします。この給付支援は誰もが予測できない突如発生した未曾有の事態に対し実施する期間限定の支援です。主治医および患者さん本人が望む治療の継続をサポートすることで、新型コロナウイルス感染症の感染リスクへ備え、経済危機に直面した患者さんの生活と新しい一歩を踏み出す一助となることを目的としています。本支援対象者は患者さん向け案内に記載しております。対象の患者さんがいらっしゃる場合は、ご案内をいただきたく宜しくお願い申し上げます。

弊社は、新型コロナウイルス感染症の 1 日も早い終息と、我々のお客様そして全ての糖尿病患者さんがこの危機を切り抜け、平穏な生活を取り戻すことを願っております。

＜支援策実施の背景＞

弊社ダイアビーティス事業部は、糖尿病治療のインスリンポンプ療法 (CSII 療法)、リアルタイム CGM 機能搭載インスリンポンプ療法 (SAP 療法)、持続グルコース測定 (CGM) において使用する製品を取り扱っています。いずれも 1 型糖尿病などの IDDM 患者さん (insulin dependent diabetes mellitus: インスリン依存型糖尿病) が主に用いる先進糖尿病治療の一つで、代替療法と比較し、良好な血糖コントロールが得られること¹²³が知られています。また、インスリン治療は、日々の生活の中で患者さん自身が行う治療であり、これらの治療に使用する製品は患者さんが糖尿病とともに生きる上で患者さんの生活とともにあるものです。上述の理由で治療継続できない場合、血糖コントロールを損なうおそれがあるばかりでなく、日常生活への影響も懸念されます。

また糖尿病を基礎疾患として持つ患者さんは、新型コロナウイルス感染時の重症化のリスクが高い可能性があり注意が必要であると、日本糖尿病学会や米国糖尿病学会などから報告⁴⁵されています。糖尿病患者さんは未だ残る感染リスクに備える対応が求められています。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

メドトロニック新型コロナウイルス感染症特別支援係: rs.japandibcovid19relief@medtronic.com

1. Pickup JC, et al.. Diabetic Medicine, 2008;25, 765-774 2. Bergenstal RM, et al. N Engl J Med 2010; 363:311-320

3. Pickup JC, et al. BMJ 2011;343, d3805

4. 日本糖尿病学会 “新型コロナウイルス (COVID-19) への対応について (Q&A)” http://www.jds.or.jp/modules/important/index.php?content_id=137

5. American Diabetes association “Diabetes and Coronavirus” <https://www.diabetes.org/coronavirus-covid-19>